



Umidasの法人化について

■名称及び法人格

一般社団法人Umidas (呼称：ウミダス)

■名称決定の経緯

令和6年3月に海業推進会議が策定した「愛南町海業グランドデザイン」に記載する「愛南海業コンシェルジュUmidas」プロジェクトから引用。由来は下記のとおり。

作業部会において、商標登録上の重複や、愛南町海域情報ポータルシステムと同音であることへの懸念について議論したが、特段問題無いと判断。

なお、法人格については、公益事業を実施する観点及び意思決定機構の容易性から一般社団法人を選択。
(理事会設置一般社団法人、社員配当無しの非営利型を予定。)

■名称の由来

“Umidas” 5つの「生み出す」

＝複数の要素を補完する中間支援の役割と海業推進チームの頭文字

…motivation & money 「モチベーションとお金」を生み出す

…innovation 「イノベーション（アイデア）」を生み出す

…design 「デザイン」を生み出す

…ai & action 「愛・郷土愛（シビックプライド）と行動」を生み出す

…Sustainable 「サステイナブル地域ビジネス」を生み出す



■法人の設立目的・理念

1. 海に関わる地域資源の価値や魅力を活用して、町を輝かせる海業の取組を通じて、
2. 来訪者の皆様へ愛南町のおもてなし文化を、
3. 町内の皆様へ地域愛を感じていただくとともに、
4. 全世代がつながり、新たな挑戦と変化を生み出すことで、
5. 長く幸せに生活できる愛南町の実現を推進することを目的とする。

■法人の活動基準

1. 地域愛を育む「ぎょしょく」教育で培ったノウハウや人材ネットワークを基盤として、この維持・発展をサポートしつつ、来訪者の皆様が町内にお金を落とす仕組みと愛南町との関係を持ち続けていただく仕組みを、地域の皆様とともに考え、実践する
2. 安定的で快適な生活を持続させていくため、来訪者からもたらされる経済効果を、町内における生産と消費活動の活性化に還元する
3. 来訪者の皆様に満足いただけるおもてなしを提供するため、地域資源の価値や魅力を最大化するとともに、地域の皆様の課題解決をサポートする

※法人の活動については、設立目的・理念及び活動基準に基づき町内事業者、法人職員、行政関係者はもとより、町外関係者や顧客の意見を取り入れながら検討・実施します。



■定款の事業内容

1. 地域資源の価値や魅力の商品化、営業・販売(ぎょしょく体験プログラム、地場産品)
2. 地域資源の価値や魅力の最大化(保全、発掘、磨き上げ・ブランド化、ガイド人材育成)
3. 観光・飲食・宿泊・物産に係る地域情報の収集とネットワーク化、発信
4. 地域愛を育む「ぎょしょく」教育の維持・発展に関わる事業(授業・講座、郷土料理)
5. 町民満足に関わる事業
6. 町内の農林水産業の発展と雇用の創出に関わる事業
7. 町内における消費活動の促進、飲食・物販に関わる事業
8. 観光資源の保全、開発、美化、観光客等の受入れ環境の整備
9. 町のファンづくり、関係人口の創出、移住・定住に関わる事業
10. 国内外からの誘客促進、国内外の観光客に関するデータ収集と分析に関わる事業
11. 集客施設の設置・運営、集客イベントに関わる事業
12. 観光・物産に関わる人材育成に関わる事業
13. 旅行業法に基づく旅行業・旅行業者代理業
14. 前各号に関するコンサルティング事業
15. その他、当法人の目的達成のために必要な事業



海業中間支援法人設立準備委員会の議論

1/10 準備委員会
作業部会資料 (一部)

教育

愛南町

年間計画

年間予算
助成金

愛南町
(ぎょしょく普及推進協議会)
※愛南産水産物の消費拡大を目的

郷土愛
教育の充実

地域外
留学増加

学生グループ

愛南町住民

教育委員会・学校

費用請求
支払

依頼
提供

愛南町海業中間支援
法人Umidas (仮称)

教育・地域資源

愛南ぎょしょく体験
プログラム(有償)

	内容
1	ウニ殻のランプシェードづくり
2	養殖場見学、餌やり体験
3	魚の二重骨格標本づくり
4	魚のDNA見てみる?イカの解剖
5	シーボーンアートづくり
6	森・山・川・海探検
7	海業を知る学習
8	海のカ"CO2固定量を試算"
9	堤防/岸壁釣り体験
10	市場見学/漁協の仕事
11	マリンレジャー&海洋環境学習
12	ウニッコリーづくり体験
13	漁船deアドベンチャー
14	パロック真珠アクセサリーづくり
15	調理実習、郷土料理体験

海業調理
講師グループ

皆で地域食材を使った
料理/特産品の共同開発

住民参加
生きがいを
創出

拠点

事業窓口
町/海の案内
小さな水族館
コワーキングスペース
多様な学び

人材育成

ガイド登録制
マニュアル
教材の整備

観光客
の増加

旅行会社

提供
依頼

ネット・地域活性

スマホで簡単予約
レジャー予約、宿泊システム構築など
愛南町の郷土料理、飲食店予約
ECサイトの運用、イベント情報発信

新旧郷土料理の提案

提案

運動施設

自然

観光資源

文化

修学旅行

個人旅行者

合宿

山・川・海
アクティビティ

磯釣り聖地

3つの温泉

ブランド産品

町内の宿泊施設

イベント
協力

産直市

特産品
販売

道の駅

特産品の
安定提供

町内の飲食店

地元食材を使った統一メニュー

ご当地グルメ大会

Sea級グルメ大会
全国大会

知名度

地域食材
消費拡大

飲食

観光

協力者

県

町

愛大

農協

漁協

森林組合

観光協会

商工会



○ 養殖業の説明と現場対応案

愛南町海業
体験プログラム

ブルーツーリズム

SDGsの観点



参加条件：小学生以上

漁業体験



愛南漁協が「愛南の真鯛」のブランド名で販売する美味しいマダイ。漁船に乗って養殖場で餌やり体験を行います。その後、漁港に戻り、産地への出荷の見学をします。道の駅に戻り、産直市場見学、刺身の試食を行います。※1

【学習の流れ】

事前学習

- 事前学習用DVDで学習します。
- 「愛南の真鯛」の特徴について調べます。



現地学習

- ① 漁船で養殖いけす見学
- ② 餌やり体験（時期によっては出来ない場合もあります）
- ③ 刺身の試食 ※1
- ④ 産直市場の見学 ※1



事後学習

- 自分の住む町の海で獲れる魚について調べます。
- 違いを認識・比較してまとめ学習をします。

※1産直市場が出来てからの対応となります。



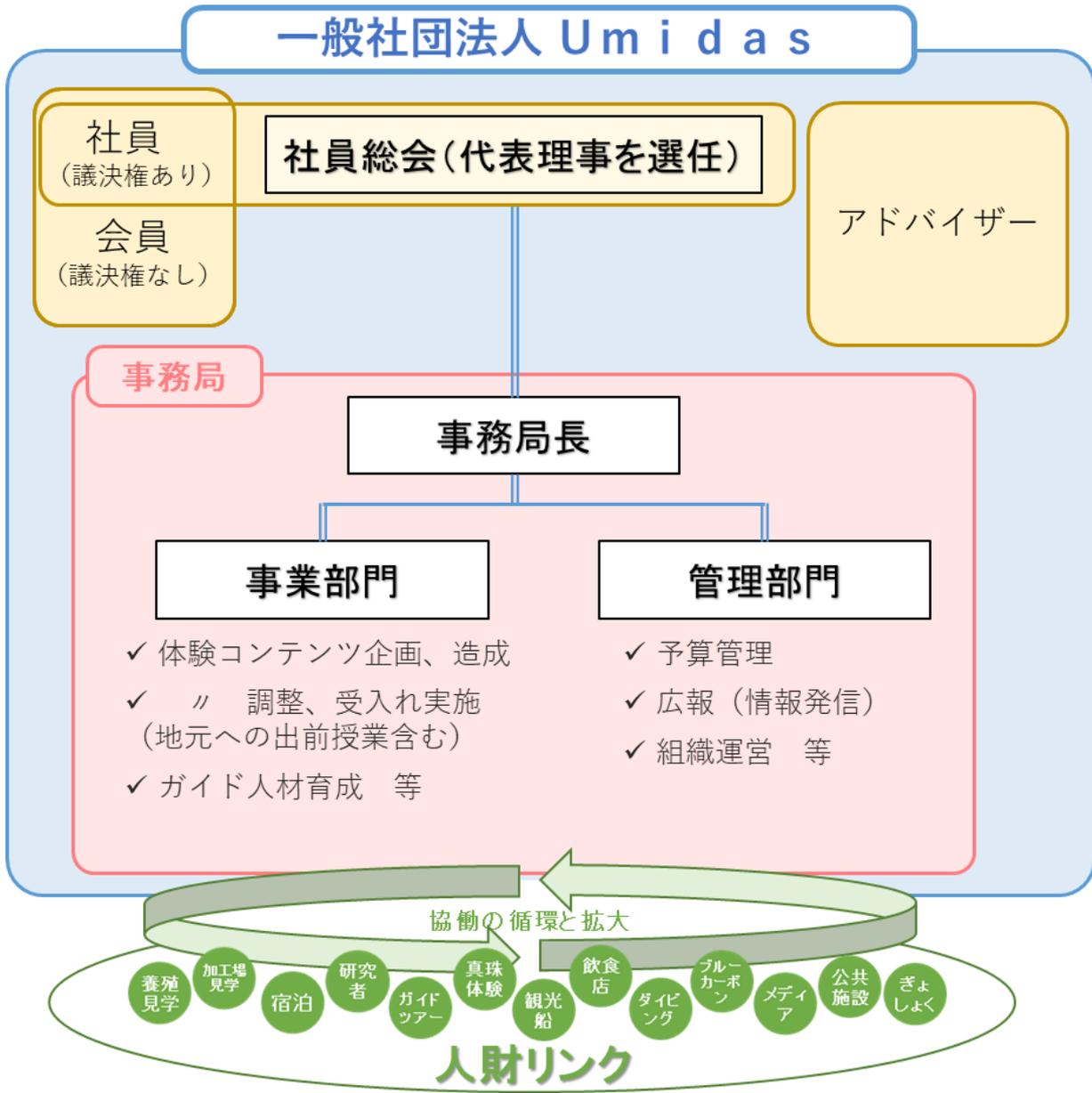
学習のポイント

養殖魚が食卓にのぼるまでの流れを楽しく学び、魚の美味しさと海の恵み・海の仕事を知ります。

受入可能人数	20～ 人		
受入可能日・時間	月～ 月下旬 09：00～12：00 出荷見学有り 13：00～15：00 出荷見学無し		
体験時間	120分		
料金	円/1人あたり		
問合せ先	愛南町海業 0895-72-7312		
雨天時	少雨決行 (原則前日判断)	駐車場(バス)	○



一般社団法人Umidasの組織体系



海業を推進する中間支援法人「一般社団法人U m i d a s」の設立について

プレスリリース愛総発第 23 号

令和 7 年 3 月 13 日

一般社団法人U m i d a s

愛 南 町 役 場

令和 7 年 3 月 5 日、愛南町内に立地する団体 8 者(下記 6)は、海業(うみぎょう)の取組により、長く幸せに生活できる愛南町の実現を推進することを目的として、一般社団法人U m i d a s(呼称：ウミダス。以下「本法人」という。)を設立しました。

本法人は、愛南町の地域資源である「ぎょしょく」教育と、豊かな自然や食に立脚する観光を両輪として、地域愛の醸成と地域活性化を図ることにより、水産物の消費拡大、地域所得の増加と雇用の創出を目指す団体です。

昨年度策定された「愛南町海業グランドデザイン」(令和 6 年 3 月愛南町海業推進会議)のプロジェクトの 1 つである「愛南海業コンシェルジュU m i d a s」プロジェクトを具体化する議論を行い、昨年 12 月から法人設立に向けた準備を進め、今回の設立に至りました。本日、臨時社員総会を開催し、諸規程類の決定や事業計画等について決めましたので、お知らせいたします。

なお、本事項について 3 月 17 日に開催する第 8 回海業推進会議にて説明するとともに、会議終了後ブリーフィングを行います。

記

○一般社団法人U m i d a s について

1. 法人名称：一般社団法人U m i d a s(ウミダス)
2. 代表理事：中村 維伯(愛南町長)
3. 設 立 日：令和 7 年 3 月 5 日
4. 設立目的：長く幸せに生活できる愛南町の実現
5. 主な事業内容：
 - ・ぎょしょく体験プログラムの実施
 - ・ガイド人材の育成
 - ・観光・飲食等地域情報の収集と発信
6. 設立時社員(8 者)
 - (水産) 愛南漁業協同組合、久良漁業協同組合
愛南町ぎょしょく普及推進協議会
 - (農業) (株)フルーツアイランド・マルエム直販
 - (商工観光) 愛南町商工会、愛南町観光協会
 - (金融) 南宇和金融協会
 - (行政) 愛南町

○第8回海業推進会議について

1 日 時 令和7年3月17日(月曜日) 午後3時00分から

2 場 所 愛南町役場3階 大会議室

※終了後、記者ブリーフィングを予定。

(※)海業(うみぎょう)について

令和4年3月に閣議決定された漁港漁場整備長期計画に導入された用語。自民党の水産政策推進議員協議会(座長:小泉進次郎衆議院議員)において「海の地方創生」と位置付けられ、関係省庁の協力と連携の下、強力に推進していくこととされている。

【お問合せ先】

愛南町役場 水産課海業推進室(担当:濱、浜辺)

電 話 0895-72-7312/FAX 0895-72-1214

メール umigyo@town.ainan.ehime.jp